加賀市議会だより VOL.84

こんにちは 議会です。

令和8年（2026年）11月1日

特集 令和8年度中学生議会
詳しくは2・3ページをご覧ください。

ピックアップ 小児オンライン医療サービス事業
公園施設長寿命化計画策定事業
詳しくは5ページをご覧ください。

加賀市議会 Instagram　加賀市議会 Facebook　マチイロ

届け！私たちの声

石川県加賀市立東谷口小学校

東谷口小学校 公式HP

学校教育目標
これからの時代を生き抜く
たくましい東谷口っ子の育成
～みんなが笑顔の学校を みんなが笑顔の未来を みんながつくる～

地域の“すてき”を大発見！『町たんけん』

1・2年生は公民館や昔の小学校跡などを見学し、東谷口の「すてき」をたくさん発見しました。

「町たんけん」で発見した東谷口の魅力は、ご協力してくださった地域の方々に発表しました。

・白山信仰の歴史を示す木製の仏像を見せてもらいました。

・いちごがり体験

地域を支える人に学ぼう！『町の名人さん』

3・4年生は「町の名人さん」をテーマに探究活動を行っています。

横北町在住の競歩選手小坂忠広（こさかただひろ）さんから「自分の好き」を見つけ、「努力」することの素晴らしさを教わりました。

・競歩でオリンピックに3回出場した小坂忠広さんからのお話と競歩体験

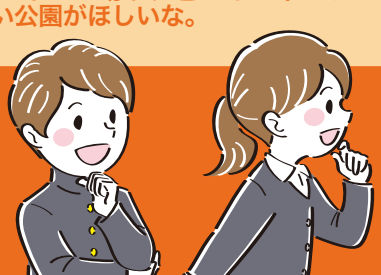
豊かな自然と命を守る！『愛鳥モデル校』

石川県より「愛鳥モデル校」に指定され、5、6年生は地域の野鳥調べ、ツバメ調査、いしかわトキこども検定に取り組んでいます。みんなが笑顔の未来をつくるため、命の尊さを学んでいます。

・日本野鳥の会石川の方と野鳥観察

・巣箱づくり

- ●体育館にエアコンがほしいな。
- ●ウォーターサーバーを学校に置いてほしいな。
- ●プールの授業をもっと増やしてほしいな。
- ●学校や公園に、もっと新しい遊具をいっぱい作ってほしいな。
- ●小学校でも自転車通学やバス通学がしたいな。
- ●地域にドッジボール場や、色んなスポーツができる大きい公園がほしいな。



全校児童28人、みんながつくる運動会

7月には「運動会集会」を開き、全校みんなでスローガンを決めました。

・6年生が企画運営した運動会集会

当日の運動会では全員が「一人一役」を担い、スローガンどおり「協力しあい、勝っても負けても笑顔、みんなが一位の運動会」になりました。

議会Youtube チャンネルはコチラ！

中学生議会

～未来の加賀市への提案～

8月5日に「中学生議会」を開催し、12人の中学生が議長と議員に分かれて、市政や学校生活などに対し、若い感性や視点から市当局に質問しました。

ここでは、質問・答弁を要約した内容を紹介します。中学生議会の会議記録・会議映像は加賀市議会ホームページにも掲載しています。

ご協力いただきました中学生議員の皆さま、各中学校の先生方ありがとうございました。

山代中学校3年 久保出（くぼで） 柑生（かんな） 議長（議事・進行）

東和中学校3年 島田（しまだ） 愛瑠（あたる） 議員

問 加賀市内に公園やサイクリングコース、屋内でスポーツや遊びができる施設を増やすことで、子どもたちの健康や地域のにぎわいづくりに役立つと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 現在、公園の遊具の更新や柴山潟のサイクリングに適した道路のルート整備に取り組んでいるが、加賀市には既存の公園施設や充実したサイクルルートがあり、まずはそれらを有効活用していただくようお願いしたい。

屋内施設の新設については、整備費などの観点から直ちに新設することは難しいが、皆さんがいきいきと活動できる場については、市としても引き続き検討していきたい。（市長）

錦城中学校2年 能美（のうみ） 大翔（まさと） 議員

問 加賀市の自然と先端技術を生かし、ドローン宅配や自動運転などを取り入れることで、持続可能な社会の実現に役立つと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 加賀市では、国や民間事業者と協力しつつ自動運転バスなどの実証実験を進めてきたが、暮らしの中で利便性を感じるところまでは十分に進んでいない。

また、本市の進むべき方向性を分かりやすく示す新しい「加賀市ビジョン」の策定も進めており、将来皆さんが成人しても本市で暮らしたいと思えるよう、持続可能なまちづくりを進めていきたい。（市長）

東和中学校3年 東谷（ひがしや） 伊織（いおり） 議員

問 作見地区にある観音様周辺の土地を1万人規模のアリーナとして整備し、様々なイベントを開催できる場所にしてはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 ご提案いただいた内容は、多くの人が集まり地域が元気になる夢のあるものである一方で、大きな施設は整備や維持などに多額の費用を要することから、市では新たな施設を計画する際には本当に多くの人に利用してもらえるかなど、よく考えながら進めている。

加賀温泉駅周辺の空間を生かしながら、今後も皆さんが安心して過ごし、楽しめる場所づくりに努めていきたい。（市長）

その他の質問 幼児期の茶道の体験について

錦城中学校2年 大河原（おおかわら） すず 議員

問 中学校部活動地域展開を発展させ、小・中学生が放課後、職人のところへ行き、九谷焼や山中漆器などの伝統工芸を教えてもらい、実際に作って販売し、その収益を子どもたちの移動費や材料費に充てるなどしてはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 加賀市としても、新たに技術習得を試みる方への奨励金制度など後継者の育成と定着に取り組むとともに、ご提案の放課後活動における職人との交流による新たな産業のきっかけ創出についても貴重な機会になると考えている。今後も関係業界団体、地域クラブ・部活動の関係者、保護者の皆様などとともに議論していきたい。（市長）

片山津中学校3年 深田（ふかだ） 友宏（ともひろ） 議員

問 STEAM（スティーム）クラブを市として新しくPRし、クラブのスタッフが学校に出向き、機材に直接触れられる「出前体験授業」を行い、子どもたちに直接情報と「安心感」を届ける仕組みが必要と考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 ご提案については、子どもたちが本クラブに興味を持つきっかけづくりとして有効であると考えており、今年度より本クラブのスタッフが各学校を回り、ご提案のような体験ができることを案内している。今後とも自分の「好き」「全力」「やってみよう」という気持ちを育める環境づくりを支えていきたい。（市長）

山中中学校3年 高地 凛（たかち りん） 議員

問 日常の情報発信や、災害時の情報の共有などのために、「加賀未来FM」のような名前で加賀市にもラジオ局を開設してはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 現在加賀市では、FMいしかわやラジオこまつを通じた情報発信に加え、SNSなどさまざまな方法で多くの人へ情報を届けられる体制を整えているため、現時点では新たにラジオ局を開設する方に市が費用の助成などを行い、新しく開設してもらうことは考えていない。

今後も現在の情報発信の仕組みをさらに充実させ、災害時にも必要な情報を確実に届けられるよう取り組み、より良い情報の伝え方について検討していきたい。（市長）

山中中学校3年 北出 大翔（きたで ひろと） 議員

問 世界的な暑さが問題となる中、観光客のために給水ボックスを設置してはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 給水ボックスは不特定多数の人が口にする水を提供するため、常に清潔で安全な状態を保つ必要があることや、電源等の確保、維持費用などいくつかの課題があり、現時点での設置は難しいと考えているが、暑さ対策や観光客のための快適な環境整備は今後の観光振興のための重要な視点であり、観光施策の中でしっかりと検討していきたい。（市長）

橋立海青学園8年 銭丸 京汰（ぜにまる けいた） 議員

問 閉校した学校の体育館などを活用し、野球やサッカーなどができる室内練習場を整備してはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 学校の体育館は、屋内スポーツを安全に行うことを想定して作られており、特殊な床の構造であるため、屋外スポーツの練習場にするには床の改修が必要となる。現在使用している学校の体育館を含め、他団体の利用が無い日は施設を傷つけないような練習の場合、団体利用ができるため、地域の皆様と譲り合って有効活用していただきたい。（市長）

山代中学校3年 五所村 メイ（ごしょむら） 議員

問 山代温泉に新しく完成した「萬松園あいうえおの杜」の奥にある2棟の廃旅館を早期に撤去し、跡地に公園やカフェのような憩いの場を整備してはどうかと考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 ご提案の内容はすてきである一方で、これらの建物は急斜面に建てられており、解体しても安全で平らな土地がほぼ残らず、さらに市が土地や建物を買い取って解体するにも巨額の費用がかかるなどの理由から難しいと考えている。

現在は、建物を解体しての跡地をどう使うかだけにこだわらず、他の自治体のアイデアも参考にしつつ検討を進めている。（市長）

その他の質問 「安全な自転車用道路の整備で誰もが安心して通行できる街にしよう」について

橋立海青学園9年 町出 翔希（まちで しょうき） 議員

問 加賀温泉駅前に新たに商業施設ができる計画があるそうですが、いつごろ完成予定なのか、またどのような店舗が入る予定なのか、市の考えをお聞かせください。

答 完成時期については、開発事業者からは土地所有者や出店企業と調整中であり、まだお示しできないと聞いている。

入店予定の店舗については、現時点では総合スーパーなどであり、そのほかビジネスホテルの誘致などが計画されている。

加賀市としては、この商業施設が「もっと住民が幸せな加賀市」を市民の皆さんに感じていただける場所になることが大切だと考えている。（市長）

片山津中学校3年 髙﨑 克吉（たかさき かつよし） 議員

問 石川県全体の「デジタル・パスポート」に、「スマートシティ加賀」ならではの特典として、公共施設などを子育て世代が無料または特別価格で利用できるようにすることで、子育てに一番優しいまちをアピールできると考えますが、市の考えをお聞かせください。

答 加賀市はこれまでも全国トップクラスの支援を行っており、成果が出ている面もあるが、「お金の負担を減らす」取り組みが中心で、デジタル技術の「便利さ」などを実感しにくいところがあり、今回のご提案は大変素晴らしいものと考えている。

一方で、本市独自の仕組みを一から作るにはさまざまな課題もある。今回のご提案を踏まえ、より良い子育て支援の実現に向けて調査を進めていきたい。（市長）

令和8年 9月定例会の概要

会期●9月4日(金)
～9月25日(金)

令和８年９月定例会で審議した市長提出議案、議会提出議案について、全議案とも原案どおり可決・認定・同意されました。

市長提出議案

- 予算案件……7件
- 条例案件……7件
- 人事案件……19件
- その他案件……6件

議会提出議案……6件

※各議案については、加賀市議会ホームページをご覧ください。
※賛否が分かれた議案の議決結果は、16ページの「議決一覧」をご覧ください。

加賀市議会ホームページ
https://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/index.html

令和8年9月定例会の議会提出議案

※各議案の内容は、要約されています。

議会提出議案

全会一致で可決　加賀市議会基本条例の一部を改正する条例

条例を検討した結果、より分かりやすい表現とすることが適切であるとされたことから、加賀市議会基本条例（平成23年加賀市条例第13号）第3条中「同一の理念及び政策」を「政策を中心とした同一の理念」に改める。

「議会が提出する意見書」とは?

意見書とは、地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書のことです。国会や関係行政庁に提出することができます。意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。

意見書

全会一致で可決　交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備についての意見書

交通事故などにおいて、母体への加害行為により胎児にも影響が及び、出生後に障害や死亡の結果が発生する事案について、関連する法制度や議論を精査し、胎児の法的保護に係る規定の整備に向けた検討を進めるよう、強く要望する。

全会一致で可決　「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への2030年登録に向けた「温泉文化」の保護・継承等への支援及び発信を求める意見書

「温泉文化」の保護・継承に資する活動などに対するさまざまな支援、地域活性化などの促進、国内外への「温泉文化」に係る情報発信の推進など、これらについて早急に措置を講じるよう、強く要望する。

賛成多数で可決　オウム真理教（現Aleph（アレフ）・ひかりの輪・山田らの集団）に対する観察処分の更新等を求める意見書

県民の不安を払拭し、安全に安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律に基づく次回9回目の観察処分期間の更新を確実に行うことはもとより、同法に定める5年ごとの見直し規定および観察処分に期限を設ける規定を廃止するよう、強く要望する。

全会一致で可決　医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の改正趣旨を踏まえた支援策の確実な実施を求める意見書

支援の実施を担う地方公共団体を始めとする関係者に対する適切な情報提供や、支援にあたり必要な予算を措置するよう、強く要望する。

賛成多数で可決　国の予算編成見直しに当たり必要な対応を求める意見書

予算編成の在り方を見直すにあたり、令和9年度の予算編成において必要な事業量に対する十分な予算を当初予算で確保し、補正予算では所要額を地方財政計画の歳出に適切に計上する等の必要な対応を行い、不測の事態に対して引き続き機動的に対応するよう、強く要望する。

質疑・一般質問

市政を問う。Q&A

9月15日、16日の2日間にわたり、14人が個人質問を行いました。

個人質問

福永　哲也　議員 …… P6
林　茂信　議員 …… P6
植木　陽祐　議員 …… P6
林　俊昭　議員 …… P7
林　直史　議員 …… P7
上野　清隆　議員 …… P7
一色　眞一　議員 …… P8
若林　高　議員 …… P8
南出　貞子　議員 …… P8
辰川　志郎　議員 …… P9
髙橋菜見子　議員 …… P9
荒谷　啓一　議員 …… P9
東野　真樹　議員 …… P10
中川　敬雄　議員 …… P10

ここで紹介している質問・答弁は、それぞれの内容を要約したものです。
なお、会議録は、議会ホームページから閲覧できます。
また、当日の質疑・一般質問の映像は加賀市議会YouTubeチャンネルから視聴できます。

- 議会ホームページ　http://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/gikai.html
- 議会Youtubeチャンネル
  https://www.youtube.com/channel/UCtRm_TmFaD_OAu3BHZTETOQ

議会ホームページ　議会Youtubeチャンネル

ピックアップ!

小児オンライン医療サービス事業
〔総事業費 約935万円 うち令和8年度事業費 275万円〕

デジタル技術を活用した医療サービスの一環として、アプリを使った小児オンライン医療サービスの実証を行う。365日対応の「小児オンライン医療相談」と、夜間・休日に利用できる「小児オンライン診療」の2種のサービスを、市民がスマートフォンやパソコンから利用可能とし、子育て世代にやさしい環境づくりの一助となるようにサービスを提供する。（事業年度　令和8年度～令和9年度）

公園施設長寿命化計画策定事業〔総事業費 330万円〕

中央公園内にある野球場、スポーツセンターおよびテニスコートは、老朽化が進んでおり、今後大規模改修を計画的に進める必要がある。その財源として、社会資本整備総合交付金を活用するため、交付金の申請に必要となる長寿命化計画を策定する。

個人質問

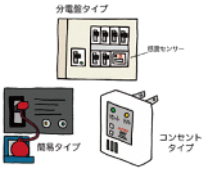
感震ブレーカーの設置促進の手法は？

福永 哲也 議員

問 **地震による火災発生原因の過半数は電気関係である。感震ブレーカーは、ブレーカーを落として避難する余裕がない場合、電気火災を防止する有効な手段である。しかし、現状は感震ブレーカーへの認知不足から設置が進んでいないと聞く。現在、一般に販売されている感震ブレーカーの種類や機能概要、感震ブレーカーの普及状況と今後の市民へのさらなる普及啓発の手法について問う。**

答 主な感震ブレーカーには、工事が必要な分電盤タイプ、工事不要の簡易タイプがあり、令和7年8月現在、**全国の普及率は6.2%**である。

市民への普及啓発は防災訓練や各種講習会、動画などを活用している。今後はSNS等を活用し、感震ブレーカーの設置を呼びかけ、自発的な防災活動の定着を図っていく。（消防長）



感震ブレーカーの情報（総務省）

議員のひとこと 地震による火災発生は過半数が電気関係。電気火災の対策には感震ブレーカーが効果的では？

他の質問 加賀市市民栄誉賞の創設事業、加賀市政の広報と情報発信力　ほか

個人質問

加賀海岸の天然記念物指定を！

林 茂信 議員

問 **新聞報道によると、「NPO法人加賀海岸の森と海を育てる会」に参画している宮誠而氏が行った植物の個体調査で、加賀海岸の海浜植物群落が5つの植物種の個体数と生育面積が日本一の大群生地とみられることが判明した。海岸植物研究の専門家である中西弘樹長崎大学名誉教授が「国の天然記念物指定を目指すべき」との見解を示した。**

このことについては加賀市が主体となって取り組むべきと考えるが、天然記念物としての国指定への運動について、今後の取り組み方針を問う。

答 多種多様な海浜植物が生育する加賀市の加賀海岸地域の海浜植物群落は、大変貴重であると認識している。

海浜植物の国の天然記念物指定を受けるには、学術的な裏付けをさらに強化していく必要があり、海岸管理者である石川県や長年活動してこられた団体・地域の皆様のご協力が不可欠と考えている。

引き続き支援や関係機関との協議に努めてまいりたい。（教育長）

議員のひとこと 国の天然記念物指定を目指すなら、まさに今！

他の質問 物価高騰対策　ほか

個人質問

加賀市・小松市の今後の医療体制について

植木 陽祐 議員

問 **加賀市医療センターと小松市民病院の連携を目的とした協議会が設置されるそうだが、医療センターの在り方だけでなく、医療の在り方、市民の健康の在り方、また、地域の在り方等を包括的に考えた上での、いわゆる医療のグランドデザインをどのように描いているのか、見解を問う。**

答 市民が住み慣れた地域で必要な医療や介護を受けながら、健康に暮らし続けられる地域をどのようにつくっていくかという「まちづくり」の視点が重要であると考える。訪問診療や訪問看護などの在宅医療、地域の中の健康づくり活動など、最期まで本人の望む生活を続けられることが、「もっと住民が幸せな加賀市」の実現に寄与するものと受け止めている。（市長）

議員のひとこと 医療の観点だけでなく、公共交通、地域内での支えあいなど、市民にどう生きてほしいか大きく描いた上で協議に臨んでいただきたいです！

他の質問 安心して農業に取り組める地域づくり、避難所における備蓄等の状況と運営体制

個人質問

入湯税の改定や宿泊税の導入は？

林（はやし） 俊昭（としあき） 議員

問 3温泉の総湯の老朽化が著しい。北陸新幹線の敦賀駅延伸から2年半でこの状態である。財政状況が厳しい中、「湯札」の料金改定などを行う必要があると考えるが、増収策などについて問う。

また、今後の大規模修繕を見据え、入湯税の税率改定や宿泊税の導入も検討すべきと考えるが、所見を問う。

答 定期券および期間利用券である「湯札」を含む利用料金体系は、受益者負担の在り方も考慮し、財産区民の皆様のご意見を丁寧に伺いながら検討していきたいと考えている。

入湯税の税率改定や宿泊税の導入の検討については、進めていかねばならない事項と認識しており、今後の観光振興等に係る事業の財源について意見交換を開始したところである。

今後も県や県内自治体の動向も注視しつつ検討していきたい。（産業部長）

議員のひとこと 総湯は加賀市の温泉文化の象徴であり、これらを守り、継承・発展させていくには早め早めの対応が必要だ。

他の質問 台湾友好都市訪問事業、令和7年度一般会計決算　ほか

個人質問

「パートナーシップ宣誓制度」導入までのロードマップは!?

林（はやし） 直史（なおふみ） 議員

問 「パートナーシップ宣誓制度」導入までのロードマップを示せ。

あわせて、制度導入までの加賀市医療センター、加賀市営住宅での同性パートナーの方々への対応について問う。

答 当事者の声などを踏まえ、パートナーシップ宣誓制度の導入は市民全体の性の多様性への理解を深める一歩になると改めて認識しており、来年度を目途に制度を開始したい。（市長）

当事者の方々のご意見をできる限りお伺いしつつ、先行自治体の事例を参考に速やかに制度設計を進め、実効性の高い制度構築への整備などを進めていく。（総務部長）

加賀市医療センターでは、患者との関係が確認できれば同性パートナーが身元引受人となることは可能である。（病院事業管理部長）

加賀市営住宅での同性パートナーの入居については、入居資格を満たしていれば同一世帯として入居が可能である。（建設部長）

議員のひとこと 当事者のご意見を最大限反映した制度設計を！

他の質問 肺炎球菌ワクチンの市独自の助成事業、日常生活用具給付等事業の給付基準額の見直し、小・中学校体育館への空調設備の整備加速化

個人質問

みんなが公共施設を安心安全に利用できるためには？

上野（うえの） 清隆（きよたか） 議員

問 加賀市が公共施設を整備する際には、「石川県バリアフリー社会の推進に関する条例」の基準を満たすよう設計を進めていると聞く。しかしこれらはあくまで「最低限の基準」であり、実際の利用者のニーズと必ずしも一致しない。実際の利用者の声を反映するには、設計前の意見交換が極めて重要であると考える。

今後の公共施設整備において、設計前の意見交換をどのように位置づけ反映していくのか、所見を問う。

答 今後、施設の用途や規模などを踏まえ、意見交換が必要な施設については、できるだけ早い段階から、バリアフリー等に関しても利用者や関係団体の皆様のご意見を伺う機会を設けることを検討していく。

また、いただいたご意見を設計、施工と供用開始後の運用へ適切につなげる庁内体制も検討していく。

安全性と持続可能性を維持しながら、誰もが利用しやすい公共施設の整備に努めていく。（総務部長）

議員のひとこと まず、利用者や関係団体の皆さんの意見を聞くことが大事！

他の質問 特殊詐欺、台湾友好都市訪問事業　ほか

個人質問

体育館の空調設備整備事業を急げ！

一色（いっしき） 眞一（しんいち） 議員

問 学校体育館は災害発生時、避難所として活用できる貴重な施設だ。新聞報道によると石川県で激甚災害に指定された災害は過去5年間で13回に上り、加賀市でも先日の大雨で警戒レベル4の危険警報が複数回発表され、避難指示が発令された。

こうした状況の中、体育館の空調設備整備事業のピッチを上げる必要があると考えるが、見解を問う。

答 学校の体育館は「指定避難所」としても重要な役割を担っている。

近年、石川県内でも災害が頻発しており、体育館の耐災害性向上および熱中症対策は喫緊の課題であると認識している。

国において学校体育館等における空調設備を加速する方針が示されたことを受け、加賀市としてもできる限り整備を加速していく。（教育委員会事務局長）

議員のひとこと 国の方針を受けて加賀市も空調設備整備を加速させるとのことだが、加賀市独自の一歩先んじた方針を示してほしかった。

他の質問 加賀温泉駅南地区開発、市道B第152号線消雪施設設置事業、公立保育園再編　ほか

個人質問

大聖寺川水系で新種発見!?

若林（わかばやし） 高（こう） 議員

問 大聖寺川水系で実施した**環境DNA検査**で、**令和6年9月に福井県内で新種**として発見された**「レイホクナガレホトケドジョウ」のDNA断片が検出された**そうだが、このことは大聖寺川水系における生息の可能性を示している。

この種は福井県では捕獲禁止等の緊急指定種に指定されている貴重な生物である。加賀市ビジョンにおいて、**こうした貴重な生態系の保全など**についてどのように**反映**させるのか。

答 加賀市ビジョン達成に向けた**具体的な取り組み**を展開していく中で、**生態系や自然環境の保全という視点を大切にしつつ**、自然と人が共生するまちづくりを進め、加賀市ビジョンに掲げる「健やかさ」を育み、住民がふるさとの豊かさや幸せを実感できるまちの実現につなげていきたい。（総務部長）

議員のひとこと **具体的な取り組み**とはどのようなものか、**県の動きとともに注視していきたい。**

他の質問 地域見守り支えあいネットワーク制度、中学校部活動の地域展開、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成　ほか

個人質問

萬松園あいうえおの杜頂上付近の廃業旅館解体はいつ？

南出（みなみで） 貞子（さだこ） 議員

問 長年訴え続けている萬松園あいうえおの杜頂上付近の廃業旅館について、山代温泉観光協会から、萬松園風致地区の豊かな自然を生かした提案が示された。

数年滞っていた課題だが、萬松園あいうえおの杜の完成により、老若男女の憩い・にぎわいの場となり、山代温泉の名所にもなっている。しかし、頂上付近に立ちはだかる2棟の廃業旅館へ不審者などが侵入しており、地元住民は大きな不安を抱えている。一日でも早い対策が必要と考えるが、所見を問う。

答 ご指摘のとおり、防災・防犯上の課題があると認識している。

しかし、2棟ともがけ地に建てられており解体後に有効利用できる土地がほぼ残らず、解体にも多額の費用を要することから、現時点では市が取得し解体することは難しいと考えている。

そのため、他自治体の先進事例も参考にしながら進めている。（市長）

▲萬松園あいうえおの杜頂上付近の廃業旅館

議員のひとこと 今や山代だけでなく加賀市全体の課題にもなっている萬松園あいうえおの杜頂上付近の廃業旅館に対して、現実を見極めた対策を！

他の質問 加賀市総合防災訓練　ほか

個人質問

給食センターの設置を！

辰川（たつかわ） 志郎（しろう） 議員

問 昨今の物価高騰により、これまで通りの栄養バランスや質を保った学校給食の提供のため、学校給食における物価高騰対応事業費として小学校14円、中学校17円を補正し、一食あたり小学校420円、中学校485円とするそうだが、将来の児童生徒の減少も考慮し、給食センターを設置して合理化を図る必要があるのではないか。

答 給食センターについては、食材料調達の一括管理と大袋化によるコスト削減などのメリットがある一方、調理から食事までの時間が長くなるなどのデメリットもある。

現在、市教育委員会において「加賀市立学校施設の在り方に関する会議」を設置しご議論いただいており、会議での議論を踏まえ、検討したい。（教育委員会事務局長）

議員のひとこと
物価高騰による食材の値上げは甚だしく、今後も続く可能性がある。将来の児童生徒の減少を鑑み、補助金額増額に加えて給食センターを設置し、コスト削減を図りつつ限られた予算で質と量の高い給食の提供を！

他の質問
加賀温泉駅南地区開発　ほか

個人質問

加賀市の子育て政策のバランスは？

髙橋（たかはし） 菜見子（なみこ） 議員

問 令和8年7月に開催した議会おでかけトークで、加賀市の子育て政策における「子どもの年齢におけるバランス」「他の事業とのバランス」「金銭的補助と人的援助のバランス」について要望があったが、所見を問う。

答 「子どもの年齢におけるバランス」として、**出産準備・子育て応援ギフト等の給付、保育料や小中学校給食費の完全無料化、18歳までの医療費窓口無料化、児童手当の拡充等**の支援策を、「金銭的補助と人的援助のバランス」では**子育て寄り添いおむつ事業等の寄り添い支援、ファミリーサポートセンター設置、学童クラブ職員の研修参加支援、子どもの居場所づくりの充実**を図り、**専門相談窓口**など保護者に寄り添う体制の充実を、「他の事業とのバランス」では全世代の市民の皆様の満足度を高めていくという観点を持ち、最適なバランスを取ることが重要であると認識している。

今後も市全体のバランスに配慮した取り組みを推進していく。（健康福祉部長）

▲子育てハンドブック

議員のひとこと
人的支援のさらなる工夫と充実を！

他の質問
市民の健康に関して　ほか

個人質問

山中温泉ゆけむり健康村の電車「しらさぎ」を無償譲渡して保存継続を！

荒谷（あらたに） 啓一（けいいち） 議員

問 山中温泉ゆけむり健康村に保存・展示されている歴史的鉄道遺産である「しらさぎ」は、**このままでは放置されたままか鉄くずとして処分されることになるであろう。**

私は当施設について、「解体しての跡地利用」として訴えてきている。**近年、市からの無償譲渡を求めていたという歴町センター大聖寺、北国（きたぐに）鉄道管理局の両NPO法人と早急に協議・交渉を始めるべきと考えるが、所見を問う。**

答 歴町センター大聖寺、北国（きたぐに）鉄道管理局の両NPO法人から「しらさぎ」の保存や活用にご関心をいただいており、**山中温泉ゆけむり健康村の今後の方向性、市民や車輌のファンの思いを鑑み、さまざまな課題も考慮した上で協議し、その他の方法についても並行して検討していきたい。**（産業部長）

▲山中温泉ゆけむり健康村の電車「しらさぎ」

議員のひとこと
2団体とも今でも受け取り意欲があるので、早く対応できるところを優先に交渉を！

他の質問
令和8年度予算における「不断の事業見直し」、法政大学と加賀高校と加賀市の包括連携協定、児童発達支援センター「このゆびとーまれ山中」　ほか

個人質問

解体費用5億円弱！加賀市中央公園プールをどうする？

東野 真樹 議員

問 新加賀市市民水泳プール完成後、加賀市中央公園プールの跡地利用の検討が進められていると思うが、**解体には多額の費用を要し、加賀市の財政負担の増加**も懸念される。

そこで、旧屋内プールの安全性や屋根の状態などを調査した上で、低コストで整備可能な**アーバンスポーツ施設**へリノベーションしてはどうかと考えるが、所見を問う。

答 近年の物価高騰などを考慮すると、**解体費用が5億円弱**に達する中、ご提案のアーバンスポーツパークの整備については、加賀市中央公園プールの高低差のある形状などを活用し、**解体・新規造成費用の抑制**につながる点からも有効な視点であり、**若者を中心とした活動拠点**としても非常に有益な提案であると考えている。

前例にとらわれず、多面的・多角的な視点で検討を進めていきたい。（教育委員会事務局長）

▲加賀市中央公園プール

議員のひとこと 解体し更地にするだけで5億円。ならば、**低コストで活用すべき！**

他の質問 豪雨災害、スタートアップ企業の市内定着　ほか

個人質問

これからの学校施設の在り方は要注目！

中川 敬雄 議員

問 学校施設の在り方に関する検討会議が始まっているが、現時点での所見を問う。

答 本年6月に「加賀市立学校施設の在り方に関する検討会議」を設置し、議論を行っている。7月のアンケート調査では、保護者、児童生徒、教職員、地域の皆様から合計3813件の回答をいただいた。学校にあると安心な施設を尋ねる設問では「防犯カメラ」と答えた方が多く、学校の大きさの観点では「1学年に複数クラス」、1クラスあたり「11人から30人」、通学時間は15分または30分までを希望する方が多く、他の設問ではきめ細かな支援が受けられることや多様な価値観に触れさせることなども多く選ばれた。8月の検討会議では、少子化や学校施設の老朽化、人とお金の不足の指摘などさまざまな意見をいただいた。

今年度中に方向性をまとめていただき、来年度中には計画を策定したいと考えている。（教育長）

議員のひとこと 公共施設マネジメント、コミュニティーの在り方の観点からも重要かつ不可避！

他の質問 給食の在り方　ほか

「加賀市議会・あわら市議会」による中央合同要望活動を行いました。

7月15日から16日にかけて、両市の正副議長および議員が石川県、福井県選出の国会議員および国土交通省へ合同要望を行いました。

加賀市、あわら市の共通課題である「国道8号の整備促進」、「観光産業への支援の拡充」について要望しました。

加賀市議会とあわら市議会は、平成27年に友好交流議員連盟を設立し、国会議員、国土交通省および地方整備局等に要望活動を行っています。

石川県、福井県選出の国会議員への要望

国土交通省への要望

多数のご参加ありがとうございました

議会報告会
議会おでかけトーク 結果報告!!

▲グループトークの様子

7月に市内６会場で議会報告会「議会おでかけトーク」を開催しました。

議会の取り組みについて紹介し、その後、グループトーク方式で意見交換を行いました。

ご参加いただいた145人の市民の皆さんには、貴重な時間にお集まりいただき、また、ご意見・ご提案も賜りましてありがとうございました。

今回いただきましたご意見・ご提案は、委員会や定例会での一般質問の参考にするなど、今後の市政、議会活動に反映させていただきます。

＼ みんなの声を、届けます！ ／

災害（防災）対策

- 大雨が降ると山側から道路に水が流れ出しているところがあり心配。
- 各家庭に設置している防災無線が聞き取れない家庭があり、災害時の対応の遅れが心配。
- 災害備品にどのような物が必要か知りたい。
- 火事の時、道が狭いため消防車が入れない。

にぎわいの創出

- キャンプ場を整備してほしい。
- 温泉地にキャラクターのものを取り入れてはどうか。
- 福井のあわら屋台村、伊勢のおかげ横丁のような、加賀温泉駅の近くに夜遅くまで食事できる場所が欲しい。
- 大聖寺の歴史を生かした町並みを創出してはどうか。

子育て支援

- 大学などの高等教育機関を誘致してはどうか。
- 働く世代の親は、園児・小学生児童が熱が出たときに連絡を受けても対応がしにくい。
- 園児・児童を預かり、病気のときに病院に送迎するなど、代行するシステムがあれば親も安心して仕事ができるのでは。
- 同年代で相談できて遊べる場所があるといい。

地域交通

- タクシーと乗合タクシーの違いがよくわからない。
- 乗合タクシーの定期券は周知されているのか？
- 公共バスが通らない地区はさまざまな交通手段が必要である。
- 高齢者が電動車いすで通行するには道が荒れている。

▼グループトークの結果発表の様子

【アンケート結果】

Q 議会おでかけトークに参加してどう思いましたか

大変よかった・・・・・・29.1%
まあまあよかった・・・・63.0%
あまりよくなかった・・・・5.5%
よくなかった・・・・・・・0.8%
その他・・・・・・・・・・0.8%
無回答・・・・・・・・・・0.8%

常任委員会・予算決算委員会分科会の主な審査内容

9月17日・18日に２常任委員会・予算決算委員会２分科会が開かれ、それぞれに付託・分担された議案やその他の関連事項について審査しました。ここでは、その一部を紹介しています。

総務経済委員会（分科会）

付託案件　8件
分担案件　7件

委員長…… 東野　真樹
副委員長…… 上野　清隆
委員…… 植木　陽祐
…… 一色　眞一
…… 上田　朋和
…… 辰川　志郎
…… 稲垣　清也
…… 中谷　喜英
…… 林　俊昭

問 議案第49号　加賀市市民栄誉賞表彰条例について、加賀市表彰と加賀市市民栄誉賞の趣旨の違いを示せ。

答 加賀市表彰は、市政や地域社会の各分野における幅広い功績のあった方を表彰するものであるのに対し、加賀市市民栄誉賞は、社会に明るい希望を与え、本市の名を高めた方の栄誉を称えるとともに、市民のふるさと意識の高揚に資することを趣旨とする。

問 議案第56号　令和7年度加賀市決算認定について、ふるさと納税に関して、企業版ふるさと納税の件数増加の要因と今後の取り組み、およびふるさと納税の実質的な収支について示せ。

答 企業版ふるさと納税については、市政の取り組みや事業を積極的にPR、発信したことが件数増加の要因であり、今後もさまざまな取り組みや事業を発信していく必要性を認識している。また、ふるさと納税の実質的な収支については約４億7,800万円のプラスになっている。

※委員からは、企業版ふるさと納税全体の収入増に向け、全庁を挙げて取り組んでほしいとの意見があった。

教育民生委員会（分科会）

付託案件　1件
分担案件　6件

委員長…… 南出　貞子
副委員長…… 荒谷　啓一
委員…… 髙橋菜見子
…… 福永　哲也
…… 若林　高
…… 中川　敬雄
…… 林　直史
…… 林　茂信

問 議案第42号　令和8年度加賀市一般会計補正予算について、物価高騰対応生活バス路線維持・活性化助成事業に関して、路線バス運行および乗合タクシー事業に係る市の負担状況について示せ。

答 路線バスについては、昨年度決算において、国や県の補助金を受けた上で、なお赤字となる額の8割をベースに補填する形で、合計で約9,600万円を支出しており、乗合タクシーについては、定期券および顔パス認証の実証事業を行ったことから経費が増大し、約9,900万円を負担した。

問 議案第56号　令和7年度加賀市決算認定について、保育園等ICT（アイシーティー）化推進事業費および保育士確保・定着事業についての事業内容を示せ。

答 保育園等ICT化推進事業費については、法人立保育園における業務のICT化を促進するためのシステム導入経費を補助するものであり、欠席等の連絡ツールである「コドモン」を導入するため、令和7年度に1園を対象として補助を行った費用である。

保育士確保・定着事業については、法人立保育園において一定条件を満たす常勤職員を採用した場合に、就職奨励金として支援する事業であり、令和7年度の実績として、4名の方が対象であった。

委員会等活動報告 行政視察報告

加賀市議会では、いくつかの委員会を設けて、市長から提案された議案審査のほか、毎月会議を開催し、各委員会が定めたテーマの調査・研究を進めています。ここでは、直近の各委員会の取り組みを紹介します。

総務経済委員会

◎東野／○上野／植木／一色／上田
辰川／稲垣／中谷／林（俊）
◎委員長　○副委員長

加賀市市民栄誉表彰条例、第７回タウンミーティング（政策）実施報告、加賀市上下水道事業の今後の経営の在り方の答申などについて協議しました。

※７月９日、８月６日、９月17日に委員会が、７月９日に委員協議会が開かれました。
また、７月９日に現地視察を行いました。（全ての委員が出席）

教育民生委員会

◎南出／○荒谷／髙橋／福永／若林
中川／林（直）／林（茂）
◎委員長　○副委員長

福祉分野における各種計画の見直しなどについて協議しました。

また、令和８年度「高齢者住まい・生活支援伴走支援プロジェクト」などについて報告を受けました。

※７月10日、８月７日、９月18日に委員会が、７月10日、８月７日に委員協議会が開かれました。（全ての委員が出席）
また、８月24日から26日にかけて行政視察を行いました。（林（直）委員が欠席）

行政視察報告

８月24日から26日にかけて、大阪府和泉市、大阪府高石市、大阪府箕面市を視察してきました。

大阪府和泉市 ～和泉市立総合医療センターについて～

和泉市立総合医療センターは、現在、指定管理者による運営が行われています。

指定管理者制度の導入以前は、①救急医療（医師不足）、②老朽化・非耐震の施設、③経営体力（慢性的な赤字）という３つの課題を抱えていました。

そこで、和泉市立病院あり方検討委員会を設置し、同検討委員会から、課題解決には指定管理者制度の導入がふさわしいとの答申が出され、平成25年度に指定管理者の選定、平成26年度から指定管理者制度による運営を開始しました。

指定管理者制度の導入によって、医師の確保に加え病院の建て替え費用も削減でき、新病院開設後は、救急医療を完全再開し、赤字経営からの脱却を達成したとのことでした。

▲和泉市

大阪府高石市 ～医療費抑制に向けた健康増進の取り組みについて～

高石市において、医療費適正化に向けたさまざまな取り組みの中で最も費用対効果の高かった施策は、健康ポイント事業で、事業開始当初は、歩数（歩数計で測定）や特定健診の受診等に応じたポイント付与を行っていましたが、令和７年度からは、健康アプリの運用を開始し、アプリでのポイント付与に移行しています。

事業の効果としては、１人当たりの医療費・介護給付費が、ポイント事業参加者のほうが少なくなったことや、健康に関する市民意識の向上が挙げられるとのことでした。

また、保険料負担を抑えながら財政を安定させるための工夫として、国からの交付金の算定基準となる保険者努力支援制度の得点を確実に獲得するよう努めているとのことでした。

▲高石市

大阪府箕面市 ～国民健康保険税の収納率向上に向けた取り組みについて～

箕面市における令和７年度国民健康保険料の収納状況は、現年度分が96.74％で大阪府内33市中1位、過年度分が41.68%で２位と、高い収納率となっています。

その要因として、滞納徴収機構の設置と口座振替の徹底が挙げられます。

滞納徴収機構は、国民健康保険料などの滞納整理を専門として設置された部署で、積極的な滞納処分やノウハウの蓄積が可能となりました。また、回収実績が成績加算制度の対象となっていることも特徴です。

口座振替の徹底については､国保加入時に口座振替の手続きも同時に行っているほか、クレジットカードを使いその場で口座振替ができる端末を導入しており、口座振替率は58.2%で大阪府内33市中2位となっているとのことでした。

▲箕面市

議会運営委員会

◎稲垣／○南出／若林／上田／中谷／林（直）／林（茂）　◎委員長　○副委員長

全員協議会、議員の派遣、議会活性化特別委員会での協議結果、特別委員会などについて協議しました。

※７月21日、８月28日、９月４日、９月10日、９月25日に委員会が開かれました。（８月28日は林（直）委員が欠席）

公共施設マネジメント特別委員会

◎中谷／○荒谷／髙橋／一色／東野／南出／辰川／稲垣／林（茂）　◎委員長　○副委員長

加賀市公立保育園再編基本計画（改定版）の素案、委員会の最終報告書について協議しました。

《最終報告書 概要》

当委員会では、公共施設マネジメント、特に学校および保育園の統廃合について、調査・研究を行ってきました。

限られた財源の中で将来にわたり持続可能な行政サービスを維持・提供していくためには、公共施設マネジメントは大変重要であり、施設ごとの役割や機能を踏まえて優先順位を明確にし、統廃合等を積極的に進めていくことが必要です。

学校施設については実効性のある計画を策定すること、保育施設については今般策定の計画を着実に実行することを、当局に対し求めます。

※８月６日、８月28日に委員会が、8月6日に委員協議会が開かれました。（全ての委員が出席）

不登校・ひきこもり特別委員会

◎上田／○上野／植木／福永／若林／中川／林（直）／林（俊）　◎委員長　○副委員長

委員会の最終報告書について協議しました。

《最終報告書 概要》

当委員会では、小中学校における不登校に関することおよび成人などのひきこもりに関して、調査・研究を行ってきました。

調査・研究の過程において、不登校やひきこもりは誰もがいつでもなり得る身近なものであり、一方的に「問題」と捉えず、その人のありのままの姿を受け入れることが重要であると再認識しました。

今後は、不登校やひきこもりの状態にある人たちに寄り添い、社会的不利益を生じさせない環境整備を進めるとともに、理解促進や啓発を行う必要があります。また、行政、民間団体、関係機関との連携を一層強化し、地域の協力も得ながら、多様な生き方を認め合う包摂的な社会の充実に向けた一層の取り組みがなされることを期待します。

※８月７日に委員会が、７月10日に委員協議会が開かれました。（全ての委員が出席）

議会活性化特別委員会

◎中川／○荒谷／植木／髙橋／福永／上野／若林／一色　◎委員長　○副委員長

中学生議会、議会報告会、議会改革に関する検討項目などについて協議しました。

※7月10日、8月7日、8月28日に委員会が開かれました。また、7月10日、9月10日に広報部会が開かれました。（全ての委員が出席）

※委員のうち、広報部会は７名で構成されています。

委員会構成に変更がありました。

令和８年９月定例会において、公共施設マネジメント特別委員会および不登校・ひきこもり特別委員会が廃止となり、新たに政策条例検証特別委員会および空き家対策特別委員会が設置され、各特別委員会の委員が決まりました。また、議会活性化特別委員会に新たな委員が２名加わりました。

◎は委員長　○は副委員長

基地対策特別委員会

◎林　茂信　○稲垣　清也　植木　陽祐　福永　哲也　荒谷　啓一　辰川　志郎

政策条例検証特別委員会 新規

◎上野　清隆　○東野　真樹　植木　陽祐　一色　眞一　中川　敬雄　南出　貞子
稲垣　清也　林　直史　林　俊昭

空き家対策特別委員会 新規

◎荒谷　啓一　○上田　朋和　髙橋　菜見子　福永　哲也　若林　高　辰川　志郎
中谷　喜英　林　茂信

議会活性化特別委員会

◎中川　敬雄　○荒谷　啓一　植木　陽祐　髙橋　菜見子　福永　哲也　上野　清隆
若林　高　一色　眞一　南出　貞子（新任）　上田　朋和（新任）

こんにちは 議会です。
発行／加賀市議会　編集／議会活性化特別委員会広報部会
〒922-8622　加賀市大聖寺南町二41
TEL 72-7965 FAX 72-5305　E-mail gikai@city.kaga.lg.jp

議決一覧

ここでは、賛否が分かれた議案を掲載しています。その他の報告・議案は全会一致で可決・認定・同意されました。全議案等の内容は、加賀市議会ホームページをご覧ください。

9月定例会で賛否が分かれた議案

議案名		議決結果	昂志会								ビリーブ加賀			つなぐ加賀							
			林 直史	中谷 喜英	稲垣 清也	上田 朋和	中川 敬雄	東野 真樹	荒谷 啓一	福永 哲也	林 茂信	南出 貞子	上野 清隆	林 俊昭	辰川 志郎	若林 高	一色 眞一	髙橋菜見子	植木 陽祐	山口 忠志
予算案件（3件）	令和8年度加賀市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	令和8年度加賀市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	令和8年度加賀市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
条例案件（4件）	加賀市水道事業給水条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	加賀市公共下水道条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	加賀市農業集落排水施設及び小規模集合排水処理施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	加賀市地域下水道条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
その他案件（1件）	令和7年度加賀市決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
議会提出案件（2件）	オウム真理教(現Aleph・ひかりの輪・山田らの集団)に対する観察処分の更新等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−
	国の予算編成見直しに当たり必要な対応を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	−

○ は賛成　× は反対　※議長 山口忠志は採決に加わりません。

12月 定例会のお知らせ

次の定例会は11月30日から12月17日までの18日間です。

11月30日(月)10:00～ 本会議 開会、市長提出議案説明
12月10日(木) 9:30～ 本会議 質疑・一般質問
11日(金) 9:30～ 本会議 質疑・一般質問、委員会付託
14日(月)10:00～ 委員会 総務経済委員会（分科会）
15日(火)10:00～ 委員会 教育民生委員会（分科会）
17日(木)10:00～ 委員会 予算決算委員会
13:30～ 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

傍聴者・読者の声を募集します

議会を傍聴してのご意見や議会だよりを読んでのご感想を、議会だよりで紹介していきます。皆さまからの多数の応募をお待ちしています。

応募方法　「氏名」と「連絡先」を記入し、見出しに「傍聴者・読者の声」と明記の上、下記の宛先まで応募ください。
※定例会・委員会の日程は、議会ホームページ、広報かがに掲載しています。
※詳しくは議会事務局までご連絡ください。

あて先　〒922-8622 加賀市大聖寺南町二41
TEL 0761-72-7965　FAX 0761-72-5305
E-mail gikai@city.kaga.lg.jp

編集後記

改選から一年が経とうとしています。加賀市は変わったのか？議会は変わったのか？まだ、はっきりとはわかりませんが、議会は少しずつ変わっていると感じています。新しい風が吹き、議会活性化特別委員会では活発な議論が交わされています。議会活性化に対して先進的に取り組んできた加賀市ですが、時代の流れは早く、「マンネリ化」との声も聞こえてきます。そのような中でもしっかりと議論を重ね、今後もさらなるアップデートに努め、議会を活性化させていきたいと思います。　K・U

議会活性化特別委員会広報部会
部　長　荒谷　啓一
副部長　一色　眞一
部　員　植木　陽祐　髙橋菜見子
福永　哲也　上野　清隆
若林　高
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　中川　敬雄

政治家の寄附行為は法律で禁止されています。
政治家の時候のあいさつ状・中元や歳暮・祭りや会合・各種大会への寄附などは、公職選挙法で禁止されています。有権者が求めてもいけません。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

点字・音訳版「加賀市議会だより」を知っていますか?
文字による情報を利用することが困難な人に、加賀市議会だよりの点字版・録音テープ版またはCD版を市内のボランティアの人たちが製作し、自宅へ郵送します。お問い合わせ 社会福祉協議会 72-1500（担当:川崎・藤懿）

本誌は、見やすく読み間違えのないユニバーサルデザインフォントを使用しています。UD FONT